

## 令和4年度学校評価報告書

令和5年3月28日

北海道教育委員会教育長 様

北海道室蘭工業高等学校長 川 村 広 幸

次のとおり令和4年度の学校評価について報告します。

## 1 本年度の重点目標

- |  |
|--|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 保護者や地域の信頼の上に立った教育の推進</li> <li>(2) 学習者主体の学びと、安心・安全な環境づくり</li> <li>(3) 教職員一人ひとりが力を発揮できる環境づくり</li> </ul> |
|--|

## 2 自己評価結果・学校関係者評価結果の概要と今後の改善方策

評価項目	自己評価の結果	学校関係者評価の結果
学校運営	<ul style="list-style-type: none"> <li>・働き方改革への意識をさらに強める必要がある。</li> <li>・学校運営に対し、全教職員のさらなる共通理解を図る必要がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・魅力ある学校づくりをしていると感じているが、要望があるとすれば、中卒者が本校を受検したい気持ちになる学校づくりをしていただきたい。</li> <li>・小項目の評価について統計的な指標を用いた分析により、現在の課題を明確に示し、早急的な改善策と今後想定される課題も含めた長期的な改善に是非取り組んでいただきたい。</li> </ul>
改善方策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・エビデンスに基づいた学校運営</li> <li>・自己研修、校内研修の推進</li> <li>・適切な進行管理</li> <li>・管理職面談やアンケートを通して協働できる組織文化をつくる。</li> </ul>	
関係機関との連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭との連携が日常的に行われている。</li> <li>・2年間でできなかったインターンシップが実施され、地域との連携が適切に行われている。</li> <li>・スクールカウンセラー及びパートナーティーチャーの活用が積極的に行われ、生徒の心理的な発達を支援する活動が行われている。</li> <li>・教育活動の発信をホームページ、新聞等により十分行われている。</li> <li>・十分なPTA活動が実施できなかった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自己評価の結果は、貴校の取り組み内容と照らして適切である。学校ホームページによる情報発信など、取り組みが多い。改善方策も適切である。</li> <li>・コロナ禍が収束しつつある今年、地域関係機関との交流が深まることを期待しています。</li> </ul>
改善方策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・PTA活動の活性化</li> <li>・家庭・地域、関係機関との連携の質の改善</li> <li>・情報の発信内容を踏まえた、適切な情報手段の活用</li> </ul>	
学習指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習活動が効率的かつ適正に行われるよう整備が必要である。</li> <li>・ICTを活用した朝学習や学習習慣の定着、学習意欲・学力の向上の工夫が必要である。</li> <li>・オンライン学習のための環境整備と研修が十分にできた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・改善方策についても概ね適切であるが、「C」がついている項目についてより積極的な取り組みがあるとよいと考える。</li> <li>・就職に役立つ学習を取り入れていると感じるが、企業は日々進化しているので、その対応に遅れないようになってほしい。</li> <li>・ICT機器の活用に向けた授業改善は、適切だと思います。これからは機械と人間が連携していく時代がそこまで来ていると思います。</li> </ul>
改善方策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育課程の不断の見直し</li> <li>・ICT機器の活用とわかる授業に向けた授業改善</li> <li>・学習者主体の授業の推進</li> <li>・授業規律の共通認識を形成</li> <li>・朝学習の定着</li> </ul>	

評価項目	自己評価の結果	学校関係者評価の結果
生徒指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>・規律ある生活習慣の確立(基本的な生活習慣、服装、頭髪、授業)の定着へ向け、さらなる指導が必要である。</li> <li>・生活指導において保護者・関係諸機関との緊密な連携が必要である。</li> <li>・「学校いじめ防止基本方針」のもと、未然防止のための取組が適切に行われている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒指導について、自己評価が適切に出来ていると思いますが、保護者アンケートの間16では、職員アンケートと少しポイントが離れていたため、改善方策にある「連携の質的強化」がまさに重要と思います。</li> <li>・いじめ対応として、家庭、地域、関係機関との連携と書かれていますが、どう言う機関を差しているか具体的に書いていただくと分かりやすいと思います。</li> </ul>
改善方策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全教職員による一貫した指導の推進</li> <li>・生徒理解と教育相談の質の充実</li> <li>・子ども理解支援ツールの有効活用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・組織的計画的生徒指導の確立</li> <li>・いじめ対応の組織的な取組</li> <li>・家庭・地域、関係機関との連携の質的強化</li> </ul>
進路指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>・進路意識の高揚を図る取り組みの推進が十分行われている。</li> <li>・望ましい職業観や勤労観を身に付けるような進路指導の充実が更に必要である。</li> <li>・生徒や保護者へ進路情報の提供が積極的に行われている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・進路指導について、自己評価、方策ともに適切と思います。</li> <li>・案ですが、春に各学年生徒に、個々に年間の目標を立ててもらい、それをファイル化して、年2回面談して指導、アドバイスをしあげる。</li> <li>・生徒にあった企業の情報を提供していると感じる。</li> </ul>
改善方策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・3年間を見通した計画的進路指導の推進</li> <li>・切れ目のないキャリア教育の推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・インターンシップの質の充実</li> <li>・進路実現のための支援の本質を追求</li> </ul>
組織運営	<ul style="list-style-type: none"> <li>・他者への貢献や知見を活用しながら、協働できる組織文化づくりが行われている。</li> <li>・PTAとの連携状況は、コロナ禍により大きく後退しているが、オンライン参観日を企画し、本校での実践的な専門教育の理解が深まった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・働き方改革は必要であると思いますが、それによってかえって仕事量が増える分掌があると思いますので人員を削減しない様にして行ってほしいです。</li> </ul>
改善方策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・校内組織の情報共有化</li> <li>・互いに話しやすい環境、互いに協力し合う職場環境づくりの推進</li> <li>・部活動指導等、業務の見直し</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・働き方改革の一層の推進</li> <li>・実践的な校内研修の充実</li> <li>・校外研修の推進と研修成果の還元</li> </ul>
公表方法	本校ホームページ、PTA総会・役員会等で公表及び説明	